

新解釈の『佐倉義民傳』を上演

中村勘三郎さんが宗吾霊堂参拝



ハナミズキの記念植樹

江戸時代初期、4代將軍徳川家綱の時代に、打ち続く凶作と過酷な重税に苦しむ農民たちを救うため、当時禁じられていた將軍への直訴を行い処刑された郷土の義民、木内惣五郎(佐倉宗吾)。その歌舞伎公演「佐倉義民傳」の上演に当たり、宗吾役の中村勘三郎さんと演出家の串田和美さんら関係者約30人が5月10日、宗吾を祭る宗吾霊堂に参拝しました。勘三郎さんが宗吾を演じるのは、平成14年に宗吾霊350年祭を記念した歌舞伎座での上演以来8年振りとなります。宗吾の墓にお参りし、本堂で護摩修行後に記念植樹を行いました。6月2日には公演会場のシアターコクーン(渋谷区)でご本尊の出開帳が行われ、公演の安全が祈願されました。



劇場内で安全祈願する中村勘三郎さん

千葉県東部五市体育大会・共同炬火イベント

灯された「友情の火」

成田、旭、匝瑳、香取、銚子の五市による「千葉県東部五市体育大会」が5月16日、銚子市で開催され、開会式で「共同炬火イベント」が行われました。炬火は、オリンピックでいう聖火です。「千葉県東部五市友情の火」と命名されたこの炬火は、今後、各市のイベントなどで活用され、最終的には、県の炬火として集火。総合開会式で炬火台に点火されます。大会では、成田が4連覇中でしたが、今回は惜しくも2位でした。



間一髪…セーフ?アウト?



まいぎりを使っての火起こしに成功!

航空機事故消火救難総合訓練

900人が一致団結



負傷者役を素早く機外へ運び出すレスキュー隊員たち



病院への搬送者数などが書き込まれていく様は本番さながら

一午後2時30分、XYZ航空527便が着陸に失敗し炎上。多数の負傷者が発生し、被害は拡大の様相…

地元自治体や空港関連会社など64団体・約900人が参加して5月27日、成田空港で「航空機事故消火救難総合訓練」が行われました。事故発生が宣言されると、消防車などが次々と事故機前に到着。放水後、レスキュー隊が負傷者役の乗客50人を救出すると、各機関が連携して救護処置と病院搬送までの手順などを確認しました。2人の死者を出した昨年の貨物機炎上事故を受けて、航空会社から危険物搭載情報を収集する訓練も行われました。

介護予防教室「音楽療法」

歌って楽しくリフレッシュ！



リズム体操では自然と笑顔がこぼれる

を行うもの。参加者は終始笑顔で、合唱や、手足を使ったリズム体操を楽しんでいました。

三里塚コミュニティセンターで4月14日、5月12日、介護予防教室「音楽療法」が行われました。介護予防教室は、高齢者がいつまでも健康的で自立した生活を送れるように、自宅でできる体力づくりや介護予防体操、心身をリフレッシュする音楽療法など

成田山平和大塔まつり奉納総踊り

軽快に、華やかに

弘法大師1150年の御遠忌を記念して1984年に建立された成田山平和大塔。その落慶を祝して奉納された総踊りが、今年は5月8日に行われました。当日は、揃いの浴衣を身につけた女性約750人が表参道入り口を出発し、「成田大音頭」など軽快な曲に合わせて踊りながら新勝寺へ。その後、大本堂前と平和大塔前でそれぞれ踊りが奉納され、多くの見物客が見守る中、境内は踊り一色に染まりました。



平和大塔を前に踊りを披露

こども体験学習セミナー

鳥だ！ チョウだ！ ロケットだ！



ゴムをいっぱい引いて発射



さまざまな形の夢ヒコーキ

公民館では、地元のサークルや地域の人たちとの交流を図ろうと小学生を対象に、「こども体験学習セミナー」を開催しています。5月22日の講座では、「鳥型ふわり夢ヒコーキ」と「ロケットコプター」作りに挑戦。参加した17組の親子は、講師の沖野勇さんの説明を受けながら、鳥やチョウの形をした飛行機を作っては、その場で飛ばして楽しみました。特に最後に作ったロケットコプターに子どもたちは大興奮。ゴムの力で勢いよく10mほどの空高くまで上がった「ロケット」が、2枚の羽根を広げクルクルと回りながらゆっくりと降りてくる様子に、子どもたちは目を輝かせながら、何度も繰り返し飛ばしていました。